

緊急企画



コラボ

北大

こども研究所

Science Lecture 2020 X

敵を知ろう！ 新型コロナウイルス

2020.8.13 (木) 13:30~14:55

授業1 13:35~13:55

コロナウイルスとはなにモノか？

講師：北海道大学；人獣共通感染症リサーチセンター准教授；山岸潤也

授業2 13:55~14:15

ウイルスに対するからだを守るしくみ

講師：北海道大学；遺伝子病制御研究所 教授；高岡晃教

授業3 <特別授業> 14:20~14:50

コロナウイルスにどのように立ち向かうか？ 現状と今後

講師：国立国際医療研究センター，国際感染症センター 国際感染症対策室 医長，
国際診療部 副部長（兼任）忽那賢志先生

<対象> 小学生・中学生・高校生（保護者の方も参加可能です）

<参加費> 無料 <申込> 不要

<当日の参加方法> Zoom を使った開催となります。

詳細が必要な方は下記の URL あるいは QR コードで当該サイトへアクセスしてください。

<http://www.igm.hokudai.ac.jp/sci/>



（注意：パソコンと携帯電話では少しアクセスの手順が異なります。
上記のサイトで前もって参加方法を確認しておいてください。）

<事務局> 〒060-0815 札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学遺伝子病制御研究所

「緊急企画サイエンスレクチャー&北大こども研究所コラボ」事務局

TEL. 011-706-5536 FAX. 011-706-7541 e-mail: igm-sci@igm.hokudai.ac.jp

後日、このサイトに録画した授業を閲覧できるように
しておきますので、もう一度見たい方や、見逃してし
まった場合にはご利用ください。

主催 北海道大学 遺伝子病制御研究所，北海道大学 創成研究機構，読売新聞北海道支社

共催 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター，北海道大学 電子科学研究所

協力 北海道大学 総務企画部広報課，北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP），北海道大学情報基盤センター

連携 TERRACE 一科学とアートが出会う場所

後援 秋山記念生命科学振興財団，日本免疫学会，日本インターフェロン・サイトカイン学会，札幌市教育委員会



『敵を知る』

ゲームで敵をうまくたおすには、敵のことをよく知ることが大切ですね。また自分がどうい武器やわざをもっているかわかっていることも重要です。世界中で感染が流行している新型コロナウイルスは、多くの感染者や死者をもたらしており、みなさんの学校や家庭など、生活の中で多くの問題をおこしています。いま、新型コロナウイルスはみんなの「敵」です。この「敵」である新型コロナウイルスについて世界中でいろいろな研究が行われています。今日はみなさんが立ち向かっている「敵」について知ろう。またウイルスに対してからだをまもるしくみについて知ろう！
今回は、実際に東京の前線で患者さんの診療にあたっている国立国際医療研究センターの忽那賢志先生を特別講師としてご発表いただく予定です。みなさんに新型コロナウイルス感染症の現状（治療・予防・検査など）とこれからの対応についてわかりやすく説明してくれます。



日時：2020年8月13日（木） 13:30～14:55

参加方法：Zoom を使った開催

詳細が必要な方は下記の URL あるいは QR コードで当該サイトへアクセスしてください。

<http://www.igm.hokudai.ac.jp/sci/>

後日、このサイトに録画した授業を閲覧できるようにしておきますので、もう一度見たい方や、見逃してしまった場合にはご利用ください。



講師スタッフ

特別講師

山岸潤也

高岡晃教

忽那賢志



対象：小学生・中学生・高校生（保護者の方も参加可能です）

申込、参加費：不要

プログラム

13:30～13:35 はじめに

13:35～13:55 コロナウイルスとは なにものか？
(北海道大学；人獣共通感染症リサーチセンター准教授；山岸潤也)

13:55～14:15 ウイルスに対するからだを守るしくみ
(北海道大学；遺伝子病制御研究所 教授；高岡晃教)

14:20～14:50 <特別授業>
コロナウイルスにどのように立ち向かうか？ 現状と今後
(国立国際医療研究センター、国際感染症センター 国際感染症対策室 医長、
国際診療部 副部長（兼任）忽那賢志先生)

14:50～14:55 おわりに

「緊急企画サイエンスレクチャー&北大こども研究所コラボ」開催にあたって

北海道大学には、8つの研究所・センターがあります。私ども研究所では、実際の研究者が科学のオモシロさを子供たちへ伝えることを目的に、いくつかの取り組みを行っております。遺伝子病制御研究所が中心となり北大附置研が参加し、毎年一回小学生対象に北大の研究室へきてもらって科学を学ぶ「こども研究所」を行い、また電子科学研究研が主体となって、中高生を対象に「サイエンスレクチャー」というイベントを行っております。さらに遺伝子病制御研究所では、幼稚園や保育園の幼児を対象として「からだをまもんジャーのはなし」という出張講義もおこなっています。一方で、現在も問題となっている新型コロナウイルス感染流行のため、会社や経済への影響だけではなく、学校へ通う子供たちにも多くの影響を及ぼしています。学校が春に一次的に閉鎖になり、再スタートしても、学校ではいろいろなルールがつけられ、また子供たちが今までのような遊びができなくなって、少なからずストレスを抱えているという現状があるのは事実です。このような背景の中、サイエンスの視点から、現在問題となっている COVID-19 について学べる機会を子供たちに提供し、現在立ち向かっている新型コロナウイルス感染症についての理解を深めることはとても大切であると考えています。ぜひ多くの子供たちの参加を御願いたします。